

東京大学 定量生命科学研究所 学術支援職員（特定短時間勤務有期雇用教職員） 募集要項

- 身 分：学術支援職員 1名
- 契約期間：2021年2月1日以降（採用日は応相談）～2021年3月31日
- 更新の有無：予算の状況や業務の進捗状況によって更新する場合が有り得る
（最終雇用終了予定日：2022年3月31日）
- 試用期間：採用された日から14日間
- 就業場所：東京大学 定量生命科学研究所（東京都文京区弥生1-1-1）
- 所 属：ゲノム再生研究分野 ※業務の都合により変更することがある。
- 業務内容：出芽酵母を用いた遺伝学実験、DNA、RNA、タンパク質を扱った分子生物学実験、放射線同位体を用いた分子生物学実験の補助および試薬や実験機器の管理などに携わる業務
- 就業日：週4-5日
- 就業時間 1日6-7時間程度
（週24-35時間程度、8：30～17：30の間、休憩60分）
※時間外労働を命じることがあります。
※勤務時間については相談可
- 休 日：土・日、祝日、年末年始（12月29日～1月3日）
- 休 暇：年次有給休暇、リフレッシュ休暇、忌引休暇 等
- 賃 金 等：時給1,200円～1,500円相当 ※資格、能力、経験等に応じて決定する。
通勤手当（支給要件を満たした場合。上限55,000円/月）、超過勤務手当
- 加入保険：法令の定めるところにより、健康保険、厚生年金保険、雇用保険に加入
- 応募資格：大学・短大・専門学校卒業程度。基本的な実験操作（ピペット操作、無菌操作、試薬づくりなど）を習得し、分子生物学実験（PCR、DNA抽出、電気泳動など）の実務経験がある方が望ましいです。酵母を用いた実験や放射線同位体を用いた分子生物学実験（サザンブロットティングやノザンブロットティング）は経験がない方でも基礎からお教えします。また基本的なパソコン操作（インターネット上での検索、Email、エクセルシートへの入力など）を習得されている方が望ましいです。新しい実験技術の習得に関心があり、誠実で、研究室の一員として協調性をもって職務に取り組んでいただける方を募集します。
- 提出書類：東京大学統一履歴書（以下のURLからダウンロードし作成すること。）
<https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/about/jobs/r01.html>
※メールアドレスの記載必須（連絡には電子メールを使用します。）
※分子生物学実験の実務経験がある方は、習得した実験技術などを履歴書の特記事項に記載してください（例：ゲノムDNA抽出、RNA抽出、PCR、FACSなど）。書ききれない場合は、用紙を追加してください（フォーマット自由）。
- 提出方法：下記宛先に【学術支援職員応募】というタイトルを記載してメールで送付してください。
※応募書類を受け取って2-3日以内にメールを受信した旨ご連絡させていただきます。
※応募書類は返却しませんので、予めご了承ください。
- 応募締切：第一次募集の締切は2021年1月20日（必着）とさせていただきます。

書類選考通過者には面接を行いますので、面接日をご連絡いたします。
適任者の採用が決まり次第、募集を締め切ります。

問い合わせ先： 〒113-0032 東京都文京区弥生 1-1-1

(書類提出先) 東京大学 定量生命科学研究所 ゲノム再生研究分野 佐々木
sasakim@iqb.u-tokyo.ac.jp (@を小文字に置き換えて下さい)

募集者名称： 国立大学法人東京大学

その他： 取得した個人情報は、本人事選考以外の目的には利用しません。